

意見が聞きたい! 私も言いたい!

# 時事ネタ★ あーだ★こーだ

## 第36回 「あなたが本当におもしろい と思うお笑い芸人は、誰？」



「M-1グランプリ」がこの夏に復活するというし、「R-1ぐらんぷり」も、そのつど話題になる。でも最近ではブレイク芸人一発屋みたいな風潮さえ漂う、お笑い芸人の方々。視聴者から飽きられていない、本当におもしろいと思える芸人さんとは？

「サンドウィッチマンが好きです。『バイキング』(フジテレビ系)の地引き綱企画は、久々にテレビのおもしろさを思い出させてくれた。チャラチャラしていないし、タレントというよりも芸人! って感じが好感を持ちます」(30代・女性)

「博多華丸・大吉さんがお気に入りです。2人ともなんでもこなせる。特に、大吉さんの微に入り細を穿つようなコメントは職人芸! THE MANZAI 2014の優勝も納得です」(40代・女性)

これまで中堅と言われる芸人の中では、さまざまやネプチューンの人気が高かったけど、ここに来て上記2組の支持率が急上昇中! 「バラタモリ」(NHK)を祝してタモリさんに1票。おもしろさと知性を併せ持つ芸人さんがどんどん減る中で、タモリさんの異彩は別格。しかも、芸や知識をひけらかすわけではない。プライベートが謎なのも魅力的」(50代・男性)

「やつぱりさんまさん! 一世を風靡した芸人が衰えていくなかで、さんまさんだけは変わらずお笑い怪物。頑張

った人だけが落ち込むことができる。など、さんまさんっておもしろいだけじゃなく、すごく元氣になれる言葉も言ってくれるのも好き」(50代・女性)

「出川哲朗さん、ダチヨウ俱樂部、江頭2・50のような常に身体を張り続ける人たちを尊敬します。だって20年、30年と自分の役割を貫徹しているんですよ。今の若手のお笑い芸人って哲学が伝わりにくく、仕事人としてはあまり共感できない」(40代・男性)

「テレビがおもしろかった時代」とも揶揄される昭和の時代を知っている芸人の存在感、やはり40代以上にとっては特別みたい。あのころは、くだらなくてバカみたいな番組も多かったからなあ。

「バラエティー番組が幼稚になったことで、芸人のタレント化が著しい。演芸場やショーパブで活動している芸人のほうがよっぽど芸人らしい。昨今テレビでブレイクしているお笑いの人は、おもしろい、というよりも、楽しい、人なだけ」(60代・男性)

(の)人なのでは? 売れっ子のお笑いタレントさんは、どんな形でもいいからネタをやってほしい。そういう番組がない。などテレビのせいにしてほしい」(50代・女性)

「3月に亡くなった桂米朝さんは、どんなにうまくなくても、どれだけ売れても、人間が大事やねん」とおっしゃ

**大募集! 「お題」& 「ご意見番」**  
この連載で取り上げてほしいテーマをお待ちしております。あなたのご意見もお聞かせください。また、「今週のご意見番」も募集します。自薦他薦不問! 告知もできます! 採用者には粗品を進呈。〒住所・氏名・年齢・電話番号を明記のうえ、ada-koda@mb.shufu.co.jp 「時事ネタ★あーだ★こーだ」お題 または ご意見番 係まで!

### 志茂田景樹さん (小説家/絵本作家) 75

## 今の若い世代にウケている笑いを 知ることは無駄じゃない

「『日本エレキテル連合』しかり、今の視聴者がブレイクした芸人を見ているときは、心のどこかで「次は誰だろう?」とすでに「その後」を予測している。消費スピードが速いのは、腰を据えて芸人を見ていない僕らの責任でもあるよね。それに加え、バラエティー番組はドラマと違って続きを見なくても、すぐに自分に合う・合わないの判断が下せてしまう。お笑い専門のレギュラー番組は『笑点』くらいしかないし、今の時代は芸人にとって過酷な時代。流行中のお笑いって、年配者にはどこがおもしろいかわからないものも多い。でも、若い世代には受け入れられる理由がある。ネタのおもしろさはわからなくても、若者にウケている理由を探る努力は放棄しないでほしい。理解するって、そういうことだと思うんです」



しもだ・かげき 本名・下田忠男。1940年、静岡県生まれ。中央大学法学部卒。'80年『黄色い牙』で直木賞を受賞。「よい子に読み聞かせ隊」を結成し、全国各地を訪ね、子どもへの読み聞かせや教育講演などの活動も続けている。